

カリキュラム・マップ

法学部の教育目的
法学・政治学の素養を基礎として、法曹・行政・企業・ジャーナリズム・政治・NPO・教育など多様な分野でリーダーシップをとり、社会や組織の形成と発展を担うことができる人材を育成する。そのために必要な知識・技能・倫理を総合的に高める教育を実践する。

学修成果
「学士(法学)」及び「学士(政治)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。 ①法学と政治学に関する基本的な知識を習得している。(2.「専門性」と関連) ②その知識に基づき、現実の社会を理解する基礎的な技能を習得している。(1.「リベラルアーツの素養」、4.「キャリア展望を確立する力」及び8.「国際性」と関連) ③偏見を持たずに多様な価値を尊重できるなど、高い倫理を備えている。(3.「自己を理解し発展させる力」及び5.「他者を理解する姿勢」と関連) ④これらの知識・技能・倫理を統合して、自ら表現することができる。(6.「表現力」、8.「リーダーシップ」及び9.「社会的実践力」と関連) ⑤国際ビジネス法学科グローバルコースに在学した学生は、国際的な視野を持ち、法的な知識・技能を英語で表現することができる。(5.「他者を理解する姿勢」、6.「表現力」及び8.「国際性」と関連)

※()内は「立教大学学士教育課程の学位授与の方針」に定める学修成果項目との関連を記載。

法学部国際ビジネス法学科グローバルコースのカリキュラム					法学部の学修成果との関連 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)				
科目名	科目 区分	主要 授業 科目	配当 年次	科目の学習成果	法学と政治学 の学問体系の基本的 な知識の習得	現実の社会 を理解する 基礎的な技能 の習得	偏見を持たず、多様な 価値を尊重 できる高い 倫理の習得	身につけた 知識、技能、倫理的 感覚を総合 して用いた 表現力の習得	国際的な視野 を持ち、法的な知識・技能を 表現する力の習得
Law and Society in Japan A	選択科目 (国ビG/学びの精神)	○	1～4	日本社会や日本法の特徴を他国と比較することを通じて、グローバルコースで学ぶことを理解し、4年間の履修のイメージをつかむ。	◎	◎	◎	○	◎
Law and Society in Japan B	選択科目 (国ビG/学びの精神)	○	1～4	日本社会や日本法の特徴を他国と比較することを通じて、グローバルコースで学ぶことを理解し、4年間の履修のイメージをつかむ。	◎	◎	◎	○	◎
Introduction to Legal Studies A	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	1～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Introduction to Legal Studies B	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	1～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Contract A	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	1～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Contract B	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	1～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Negotiation Basics	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	1～4	交渉の技法についての基礎的な理解を得る。	○	◎	◎	◎	◎
Torts	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	1～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Legal Presentation	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	1～4	法的なプレゼンテーションの特徴と作法を理解し、法律家として求められるプレゼンテーション能力を高める。	◎	◎	◎	◎	◎
Legal Writing	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	1～4	法的な文書の特徴と作法を理解し、法律家として求められる文書作成能力を高める。	◎	◎	◎	◎	◎
Anglo-American Law A	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Anglo-American Law A	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Dispute Resolution	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Labor Law	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Property	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
International Business Law A	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
International Business Law B	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
International Business Law C	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
合同講義 (オックスフォード・サマープログラム)	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	オックスフォードに4週間滞在し、現地の教員からイギリスの基本的法律科目と西洋古典について入門的ながら先端的な内容を学ぶ。	◎	◎	◎	◎	◎
Civil Procedure	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Moot Court	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Corporate Law A	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Corporate Law B	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎

法学部国際ビジネス法学科グローバルコースのカリキュラム					法学部の学修成果との関連 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)				
科目名	科目 区分	主要 授業 科目	配当 年次	科目の学習成果	法学と政治 学の学問体 系の基本的 な知識の習 得	現実の社会 を理解する 基礎的な技 能の習得	偏見を持た ず、多様な 価値を尊重 できる高い 倫理の習得	身につけた 知識、技 能、倫理的 感覚を総合 して用いた 表現力の習 得	国際的な視 野を持ち、 法的な知識・技能を 表現する力 の習得
Intellectual Property Law	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Cross-Border Litigation	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Fiduciary Law	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Financial Law	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Advanced Legal Writing A	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	3・4	契約書の作成、分析を行う能力や意見書や裁判所提出書面を作成する能力など、実践的な法的文書作成能力を習得する。	◎	◎	◎	◎	◎
Advanced Legal Writing B	選択科目 (国ビG・A/英語科目)	○	3・4	契約書の作成、分析を行う能力や意見書や裁判所提出書面を作成する能力など、実践的な法的文書作成能力を習得する。	◎	◎	◎	◎	◎
法学入門	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	1～4	法学の初学者が、法学における基本的な思考方法を習得する。	◎	◎	◎	○	○
民法概論	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	1～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
労働法	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
経済法1	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
経済法2	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
国際経済法1	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	2～4	グローバル化の進む現代における私人・私企業間の国際的な紛争の解決方法の基本構造を習得する。	◎	◎	◎	○	○
国際経済法2	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	2～4	グローバル化の進む現代における私人・私企業間の国際的な紛争の解決方法の基本構造を習得する。	◎	◎	◎	○	○
租税法1	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
租税法2	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
商法(1)	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
商法(2)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
商法(3)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
商法(4)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
知的財産法	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
国際私法(1)	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
国際私法(2)	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
国際ビジネス法総合・基礎	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
国際ビジネス法総合1A	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	2～4	グローバル化するビジネス社会に対応可能な人材たるために「リーガルマインド」「ビジネスセンス」「国際的な素養」を身につける。	◎	◎	◎	○	◎
国際ビジネス法総合1B	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	3・4	グローバル化するビジネス社会に対応可能な人材たるために「リーガルマインド」「ビジネスセンス」「国際的な素養」を身につける。	◎	◎	◎	○	◎
国際ビジネス法総合2	選択科目 (国ビG・A/日本語科目)	○	3・4	グローバル化するビジネス社会に対応可能な人材たるために「リーガルマインド」「ビジネスセンス」「国際的な素養」を身につける。	◎	◎	◎	○	◎
法学特殊講義 (Constitutional Law A)	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
法学特殊講義 (Constitutional Law B)	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
法学特殊講義 (Online Dispute Resolution)	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
法学特殊講義 (Criminal Procedure)	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
法学特殊講義 (Comparative Family Law)	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎

法学部国際ビジネス法学科グローバルコースのカリキュラム					法学部の学修成果との関連 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)				
科目名	科目 区分	主要 授業 科目	配当 年次	科目の学習成果	法学と政治 学の学問体 系の基本的 な知識の習 得	現実の社会 を理解する 基礎的な技 能の習得	偏見を持た ず、多様な 価値を尊重 できる高い 倫理の習得	身につけた 知識、技 能、倫理的 感覚を総合 して用いた 表現力の習 得	国際的な視 野を持ち、 法的な知識・技能を 表現する力 の習得
法学特殊講義 (Securities Regulations)	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
法学特殊講義 (Comparative Contract Law)	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	◎
Contemporary Culture in Japan	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	Students will gain insight into contemporary Japan by exploring the cultural and historical context of social issues such as immigration, gender relations, work patterns, stress, declining birthrate, nuclear power, and environmentalism, as well as cultural topics such as anime, literature, fashion, cinema, and food. Through these topics students will better understand Japan’s place in the world and how Japanese culture will adapt to globalization.	△	◎	◎	○	◎
Religion and Society in Asia	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	アジア圏において宗教がどのように諸地域の文化的慣習や人びとの日常生活と結びついているかを理解し、自らの意見を述べるができる。また、日本における様々な信仰や宗教的実践を、アジアにおける宗教文化という幅広い文脈の中で考察し、論じることができる。	△	◎	◎	○	◎
Japan in Asia	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	Japan’s relations with its Northeast Asian neighbors have come to be defined in part by wars of historical interpretation as seen in political exchanges as well as in history textbooks, museums, and social culture. Students will be able to examine these differences in diverse contexts to gain a broader understanding of Japan’s modern relations with its Asian neighbors	△	◎	◎	○	◎
Ethnicity and Globalization in Japan	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	日本社会におけるグローバリゼーションと人種差別主義、そして、単一民族主義に基づく集団のアイデンティティを考察し、分析することができる。移住労働者と少数民族集団などの人種のマイノリティーが日常生活に感じる疎外感と社会的孤立、主流社会による統合・差別政策、文化的共存に対し多様な立場を見せる社会集団の葛藤と社会調和を模索する過程を分析し論じることができる。	△	◎	◎	○	◎
Multiculturalism in Japan	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	多文化共生・多文化主義に関連する理論や概念を用いて、日本社会における多文化的状況について理解するとともに、その課題について多様な側面から考察することができるようになる。	△	◎	◎	○	◎
Social Movements and Social Change	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	Students will be able to apply key models and theories in the study of social movements to analyze and assess the role and impact of social movements in contemporary societies. They will also develop a better understanding of the cultural and communicative dimensions of social movements.	△	◎	◎	○	◎
Tourism Study 1 (Business)	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	英語で世界の観光事情(ビジネス)およびグローバルな観光の展開に関する知識を習得する。	△	◎	◎	○	◎
Tourism Study 2 (Society)	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	英語で世界の観光事情(社会)およびグローバルな観光の展開に関する知識を習得する。	△	◎	◎	○	◎
Tourism Study 3 (Destination)	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	英語で世界の観光事情(観光地)およびグローバルな観光の展開に関する知識を習得する。	△	◎	◎	○	◎
Tourism Study 4 (Culture)	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	英語で世界の観光事情(文化)およびグローバルな観光の展開に関する知識を習得する。	△	◎	◎	○	◎
Japanese Economy 1	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	1～4	関連する理論、概念、用語の検討を通して、主要な日本経済の事象を理解できるようになる。	△	◎	◎	○	◎
Japanese Economy 2	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	1～4	関連する理論、概念、用語の検討を通して、主要な日本経済の事象を理解できるようになる。	△	◎	◎	○	◎
Japanese Economic History 1	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	1～4	近世日本史上の経済的事件と現代の日本経済・社会への影響について理解できるようになる。	△	◎	◎	○	◎
Japanese Economic History 2	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	1～4	近代以降の日本史上の経済的事件と現代の日本経済・社会への影響について理解できるようになる。	△	◎	◎	○	◎
Marketing Management in Japan	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	マーケティング・シミュレーションを利用し、企業が実際に行っているようなマーケティングの意思決定手法を学ぶことができる。	△	◎	◎	○	◎
Business and Society	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	To develop awareness of the social issues currently facing corporations and develop analytical skills necessary for their management.	△	◎	◎	○	◎
Accounting 1	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	会計学の基礎的な用語、概念、理論を理解し、財務諸表の意味や役割についてわかるようになる。	△	◎	◎	○	◎
Accounting 2	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	会計学の基礎的な用語、概念、理論を理解し、財務諸表の意味や役割についてわかるようになる。	△	◎	◎	○	◎
Finance 1	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	時間価値、株式や債券、リスク、資本コストといったファイナンスの基本的な用語・概念を理解し、資本予算、資本構成、配当政策といった企業財務の理論を説明することができる。	△	◎	◎	○	◎
Finance 2	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	時間価値、株式や債券、リスク、資本コストといったファイナンスの基本的な用語・概念を理解し、資本予算、資本構成、配当政策といった企業財務の理論を説明することができる。	△	◎	◎	○	◎
Japanese Management 1	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	日本企業を含むケーススタディの分析を通して、企業経営の主要な特徴 を理解することができる。	△	◎	◎	○	◎
Japanese Management 2	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	2～4	日本企業を含むケーススタディの分析を通して、企業経営の主要な特徴 を理解することができる。	△	◎	◎	○	◎
Financial Statement Analysis	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	3・4	Students learn to read and anlyaze corporate annual reports and detailed financial statements.	△	◎	◎	○	◎
Modern Consumer Culture and Society	選択科目 (国ビG・B/英語科目)	○	3・4	Study of group and social behaviour of consumers and how companies might adjust their marketing. Special emphasis on Japan.	△	◎	◎	○	◎
政治学入門	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1～4	政治学の基礎を学習し、政治学の各分野を学ぶ上で必要な知識や思考方法を身につける。	◎	◎	◎	○	○

法学部国際ビジネス法学科グローバルコースのカリキュラム					法学部の学修成果との関連 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)				
科目名	科目 区分	主要 授業 科目	配当 年次	科目の学習成果	法学と政治 学の学問体 系の基本的 な知識の習 得	現実の社会 を理解する 基礎的な技 能の習得	偏見を持た ず、多様な 価値を尊重 できる高い 倫理の習得	身につけた 知識、技 能、倫理的 感覚を総合 して用いた 表現力の習 得	国際的な視 野を持ち、 法的な知 識・技能を 表現する力 の習得
憲法(1)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
憲法(2)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
民法(1)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
民法(2)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
民法(3)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
民法(4)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
刑法(1)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
刑法(2)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
法政ゲートウェイ講義(公務入門)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1	「大学に入る」までの学びと「大学に入ってから」の学びの橋渡しをはかるとともに、「大学を出た後」の進路を意識した学修を進めるための素養を身につける。	◎	◎	◎	○	○
法政ゲートウェイ講義(ビジネスとメディア)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1	「大学に入る」までの学びと「大学に入ってから」の学びの橋渡しをはかるとともに、「大学を出た後」の進路を意識した学修を進めるための素養を身につける。	◎	◎	◎	○	○
法政ゲートウェイ講義(司法職入門)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1	「大学に入る」までの学びと「大学に入ってから」の学びの橋渡しをはかるとともに、「大学を出た後」の進路を意識した学修を進めるための素養を身につける。	◎	◎	◎	○	○
法政ゲートウェイ講義(金融入門)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1	「大学に入る」までの学びと「大学に入ってから」の学びの橋渡しをはかるとともに、「大学を出た後」の進路を意識した学修を進めるための素養を身につける。	◎	◎	◎	○	○
行政法1	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
行政法2	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
民事訴訟法(1)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
民事訴訟法(2)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
刑事訴訟法	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
倒産法	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
民事執行・保全法	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
英米法1	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	英米法、特にアメリカの法制度と法文化について基礎的な知識を身につける。	◎	◎	◎	○	○
英米法2	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	英米法、特にアメリカの法制度と法文化について基礎的な知識を身につける。	◎	◎	◎	○	○
比較憲法	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	日本がモデルとした諸国の憲法制度の情報を得て、日本国憲法の理解を深める。	◎	◎	◎	○	○
国際法1	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
国際法2	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
環境法1	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
環境法2	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
金融取引法1	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
金融取引法2	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
国際民事手続法	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
刑事学	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	刑事政策について、実証研究の観点から考える力を身に付け、刑事政策に関する実証論文を読み解ける。	◎	◎	◎	○	○
少年法	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○

法学部国際ビジネス法学科グローバルコースのカリキュラム					法学部の学修成果との関連 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)				
科目名	科目 区分	主要 授業 科目	配当 年次	科目の学習成果	法学と政治 学の学問体 系の基本的 な知識の習 得	現実の社会 を理解する 基礎的な技 能の習得	偏見を持た ず、多様な 価値を尊重 できる高い 倫理の習得	身につけた 知識、技 能、倫理的 感覚を総合 して用いた 表現力の習 得	国際的な視 野を持ち、 法的な知識・技能を 表現する力 の習得
社会保障法	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
法哲学	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	法哲学的な思考が身に付く。	◎	◎	◎	○	○
法社会学1	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	法現象の法社会学的なとらえ方と分析の仕方、法過程に関する基本的な視点と知識が身に付く。	◎	◎	◎	○	○
法社会学2	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	司法制度、とりわけ、法律家について、制度と実態の双方につき、法社会学的な視点と基本的な知識を得る。	◎	◎	◎	○	○
比較法	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	契約法の比較を通じて、日本法がヨーロッパ法から受けた影響、現在の特色等について講義を行い、日本法を相対化して理解できる。	◎	◎	◎	○	◎
外国法(中国法)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	毎年度の担当者が指定する国の法制度について、基礎的理解を得るとともに、日本法を相対的に位置付けることができる。	◎	◎	◎	○	◎
外国法(フランス法)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	毎年度の担当者が指定する国の法制度について、基礎的理解を得るとともに、日本法を相対的に位置付けることができる。	◎	◎	◎	○	◎
外国法(ドイツ法)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	毎年度の担当者が指定する国の法制度について、基礎的理解を得るとともに、日本法を相対的に位置付けることができる。	◎	◎	◎	○	◎
外国法(ラテン・アメリカ法)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	毎年度の担当者が指定する国の法制度について、基礎的理解を得るとともに、日本法を相対的に位置付けることができる。	◎	◎	◎	○	◎
外国法(EU法)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	毎年度の担当者が指定する国の法制度について、基礎的理解を得るとともに、日本法を相対的に位置付けることができる。	◎	◎	◎	○	◎
法制史(西洋法制史)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	現代日本法の歴史的基礎となっている西洋法の歴史について基礎的な理解を得、あわせて現代法に対する批判的な目を養う。	◎	◎	◎	○	◎
法制史(東洋法制史)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	東洋、特に中国における法の歴史の特色について理解を深める。	◎	◎	◎	○	◎
法制史(日本法制史)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	特に近世における日本の法の歴史の特色について理解を深める。	◎	◎	◎	○	○
法学特殊講義(信託法)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
法学特殊講義(金融商品取引法)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
法学特殊講義(地方自治法)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
法学特殊講義(スポーツと法)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
法学特殊講義(立法学)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
法学特殊講義(企業のビジネス戦略と契約実務)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
現代政治理論	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	現代の政治で主要な問題と考えられている事柄について、いかなる理論的な思考がなされているかを理解する。	◎	○	◎	◎	○
国際政治	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	国際政治の基本的な知識や学問的な分析方法を体系的に学び、今日の複雑な国際政治について分析したり、説明したりする能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
行政学1	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	主権者(制度論)・消費者(政策論)・納税者(管理論)という3つの視点から行政を理解し、改革の処方箋の当否について考える能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
行政学2	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	主権者(制度論)・消費者(政策論)・納税者(管理論)という3つの視点から行政を理解し、改革の処方箋の当否について考える能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
日本政治論	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	現代の日本政治の構造とダイナミズムを理論や比較を用いながら理解し、自ら分析する能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
ヨーロッパ政治論	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	ヨーロッパ政治の多様性とEU統合などの現代の変化を比較や歴史の視座を交えながら理解する。	◎	◎	◎	○	○
アメリカ政治論	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	建国以来のアメリカの政治・外交に関する基本的な知識を習得し、現状について分析する能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
アジア政治論	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	中国をはじめとするアジア政治の構造と変化を理解し、分析する能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
日本政治史	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	政治史を中心に外交や経済、社会など日本の歴史を学ぶことを通じて、過去から未来に貫く歴史的連鎖の中で現在の日本政治を理解する能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
日本政治思想史(1)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	19世紀以降の日本および東アジアの政治思想に関する基本的な知識を習得し、歴史的に政治思想を捉える能力を身につける。	◎	○	◎	◎	○
日本政治思想史(2)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	19世紀以降の日本および東アジアの政治思想に関する基本的な知識を習得し、歴史的に政治思想を捉える能力を身につける。	◎	○	◎	◎	○
欧州政治思想史	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1～4	ヨーロッパが積み重ねてきた政治に関する知的伝統を学び、人間と世界の現在のあり方について批判的に考察する能力を身につける。	◎	○	◎	◎	○

法学部国際ビジネス法学科グローバルコースのカリキュラム					法学部の学修成果との関連 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)				
科目名	科目 区分	主要 授業 科目	配当 年次	科目の学習成果	法学と政治 学の学問体 系の基本的 な知識の習 得	現実の社会 を理解する 基礎的な技 能の習得	偏見を持た ず、多様な 価値を尊重 できる高い 倫理の習得	身につけた 知識、技 能、倫理的 感覚を総合 して用いた 表現力の習 得	国際的な視 野を持ち、 法的な知 識・技能を 表現する力 の習得
政治社会学	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	さまざまな現実的題材をとりあげながら、社会との関係において政治を捉える能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
政治過程論1	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	選挙、政党、メディアなどについて学び、政治を過程(プロセス)として把握する能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
政治過程論2	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	選挙、政党、メディアなどについて学び、政治を過程(プロセス)として把握する能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
比較政治理論	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	比較政治に用いられる分析枠組みとしての理論を学び、それを通じて現代政治を理解する能力を高める。	◎	◎	◎	○	○
公共政策論	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	日本を対象として取り上げながら政策に関する理論的なアプローチを学び、政策を分析する能力を高める。	◎	○	◎	◎	○
地方自治	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	地方分権改革によって変容した日本の自治体について学び、地方自治のあり方について考える能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
比較政治1	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	東南アジア、中東、ロシア、アフリカ、ラテンアメリカ、オセアニアなどの地域の政治について学び、世界各国の政治について分析する能力を高める。	◎	◎	◎	○	○
比較政治2	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	東南アジア、中東、ロシア、アフリカ、ラテンアメリカ、オセアニアなどの地域の政治について学び、世界各国の政治について分析する能力を高める。	◎	◎	◎	○	○
比較政治3	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	東南アジア、中東、ロシア、アフリカ、ラテンアメリカ、オセアニアなどの地域の政治について学び、世界各国の政治について分析する能力を高める。	◎	◎	◎	○	○
日本外交論	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	現代の日本外交を取り巻く国際環境や外交政策、今後の課題などについて理解を深める。	◎	◎	◎	○	○
国際政治史	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	二度の世界大戦と米ソ冷戦など現代の国際政治を歴史の観点から学び、歴史の視座から国際政治を捉える能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
平和研究	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	グローバル化に伴い複雑化する現代の戦争にどう対処し、平和を創出していくのかを、国連の活動を軸に学ぶ。	◎	◎	◎	○	○
環境政治	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	環境問題をめぐる政治に規範的考察と実証的考察との両面からアプローチし、その特質を理解する。	◎	◎	◎	○	○
会計学	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	財務諸表の作成方法を規定する会計制度と、それを支える会計理論の体系である財務会計論について学ぶ。	○	◎	◎	○	○
財政学	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	財政の役割や構造、それを支える理論、現代財政の問題点などについて理解を深める。また、日本における財政制度の特徴、最近の収支状況、直面する課題および問題点について理解を深め、これからの財政を考える能力を身につける。	○	◎	◎	○	○
社会政策論	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	社会政策(社会保障)の諸制度・理論について学ぶ。また、現物給付中心の社会保障制度である健康保険と介護保険について学び、今後の社会政策について思考する能力を身につける。	○	○	◎	◎	○
経済原論	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	近年の日本経済・世界経済を題材として、経済学の基礎的な考え方を習得する。初歩的な経済学理論を学び、経済統計の読み方を学ぶ。	○	◎	◎	○	○
統計学	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1～4	データに基づく客観的な実証・推論の手段を与える集団の科学としての統計学を学習し、データの見方、使い方を身につける。	○	◎	◎	○	○
社会調査法	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1～4	社会の多面的な実態を、実践的に把握・分析・理解するための方法論的基礎を習得する。	○	◎	◎	○	○
社会科学情報処理	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	収集した社会調査データを分析するための能力を養うとともに、法学を学ぶ上で必要不可欠な論理的思考能力を鍛錬する。	○	◎	◎	○	○
キャリア意識の形成	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2	将来の進路を決定するに際して必要な情報を身につける手がかりを得るとともに、法学部での学習を存分に生かしてキャリアを形成するための方法について自覚する機会を得る。	◎	◎	◎	○	○
キャリアデザイン―インターンシップを通じた学修	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2・3	業界分析・企業分析・自己分析を行い、社会への理解を深めるとともに、民間企業で働く上での基礎的な職務遂行能力を身につける。	○	◎	○	◎	○
自治体長期インターンシップA	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	地方自治体の現場にて長期の就業経験を積むことにより、行政実務に従事する上での基礎的な職務遂行能力を身につける。	○	◎	○	◎	○
自治体長期インターンシップB	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	地方自治体の現場にて長期の就業経験を積むことにより、行政実務に従事する上での基礎的な職務遂行能力を身につける。	○	◎	○	◎	○
公務基礎演習	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1	行政に関する基礎的な理論を学ぶことにより、公務に対する関心を高め自ら学ぼうとする姿勢・態度を身につける。	◎	◎	○	○	○
公務実践演習(文部科学行政)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	行政実務家(文部科学省)の指導のもとリアルタイムの政策課題を議論することを通じて、行政に関する理論を行政実務に応用する能力を身につける。	○	◎	◎	◎	○
公務実践演習(人事行政)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	行政実務家(人事院)の指導のもとリアルタイムの政策課題を議論することを通じて、行政に関する理論を行政実務に応用する能力を身につける。	○	◎	◎	◎	○
公務実践演習(金融行政)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	行政実務家(金融庁)の指導のもとリアルタイムの政策課題を議論することを通じて、行政に関する理論を行政実務に応用する能力を身につける。	○	◎	◎	◎	○
公務実践演習(パブリック・マネジメント)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	行政実務家(総務省)の指導のもとリアルタイムの政策課題を議論することを通じて、行政に関する理論を行政実務に応用する能力を身につける。	○	◎	◎	◎	○
法学特殊講義(西オーストラリア大学短期研修)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	1～3	西オーストラリア大学に3週間滞在し、現地の教員から法学を中心とする英語による講義を受けるとともに、オーストラリアの文化に触れたり学生との交流も行う。	◎	◎	◎	◎	◎
法学特殊講義(国際環境法)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についての基本的な理解を得る。	○	◎	◎	○	◎

法学部国際ビジネス法学科グローバルコースのカリキュラム					法学部の学修成果との関連 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)				
科目名	科目 区分	主要 授業 科目	配当 年次	科目の学習成果	法学と政治 学の学問体 系の基本的 な知識の習 得	現実の社会 を理解する 基礎的な技 能の習得	偏見を持た ず、多様な 価値を尊重 できる高い 倫理の習得	身につけた 知識、技 能、倫理的 感覚を総合 して用いた 表現力の習 得	国際的な視 野を持ち、 法的な知 識・技能を 表現する力 の習得
法学特殊講義(子ども法－理論と実践)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
法学特殊講義(多文化共生と法－理論と実践)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
法学特殊講義(ITと法)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	それぞれの法分野についてのより深い理解を得る。	◎	◎	◎	○	○
政治学特殊講義(「ロシア・ウクライナ戦争」の多角的分析)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	ロシア・ウクライナ間で生じた戦争の歴史的背景や、今後この戦争が国際秩序・国際関係にどのような影響をもたらすのかを多角的に分析し理解を深める。	◎	◎	◎	○	○
政治学特殊講義(パブリック・マネジメント論)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	3・4	パブリック・マネジメントに関する理論と実務を学ぶことにより、行政全般に共通する管理事象を捉える能力を身につける。	◎	◎	◎	○	○
政治学特殊講義(政治とマスメディア)	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	メディアを通じた情報が政治的な意思決定や世論形成にどのように影響を与えるかを学び、現代社会におけるメディアの責任と可能性について理解する。	◎	◎	◎	○	○
海外研究論文	選択科目 (国ビG・B/日本語科目)	○	2～4	問題発見能力および論文作成能力を身につける。	◎	◎	◎	◎	◎
First-Year Seminar	選択科目 (演習系科目)	○	1	担当教員が設定したテーマに関して英語により基本的な理解を得るとともに、法律学的な思考方法を身につける。	◎	◎	◎	◎	○
政治学基礎演習	選択科目 (演習系科目)	○	1	担当教員が設定したテーマに関して基本的な理解を得るとともに、プレゼンテーション能力を高める。	◎	◎	◎	◎	○
演習	選択科目 (演習系科目)	○	2～4	担当教員が設定したテーマについて、より深い理解を得るとともに、プレゼンテーション能力を高める。	◎	◎	◎	◎	○
法政外国語演習	選択科目 (演習系科目)	○	2～4	担当教員が設定したテーマに即した文献の講読やディスカッションを通じて、外国語の運用能力を高める。	◎	◎	◎	◎	◎
憲法発展演習	選択科目 (演習系科目)	○	2	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎	○
民法発展演習	選択科目 (演習系科目)	○	2	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎	○
商法発展演習	選択科目 (演習系科目)	○	2～4	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎	○
刑法発展演習	選択科目 (演習系科目)	○	2	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎	○
民事訴訟法発展演習	選択科目 (演習系科目)	○	3・4	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎	○
刑事訴訟法発展演習	選択科目 (演習系科目)	○	3・4	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎	○
行政法発展演習	選択科目 (演習系科目)	○	3・4	それぞれの法分野について、論述能力を身につける。	○	◎	○	◎	○
演習論文	選択科目 (演習論文)	○	2～4	論文作成能力を身につける。	◎	◎	◎	◎	○
情報処理入門	自由科目		1	基本的な情報処理に関する知識や技術を身につけるとともに、情報倫理等の理解を深める。	△	○	○	○	○
日本史概説	自由科目		1～4	日本史上の諸テーマについて、通史的に理解を深める。	△	○	○	○	○
世界史概説	自由科目		1～4	世界史上の諸テーマについて、通史的に理解を深める。	△	○	○	○	○
哲学概論1	自由科目		1～4	西洋哲学に即して哲学的思考を理解し、説明できる能力を身につける。	△	○	○	○	○
哲学概論2	自由科目		1～4	東洋哲学に即して哲学的思考を理解し、説明できる能力を身につける。	△	○	○	○	○
宗教思想1	自由科目		1～4	現在のわれわれの知の枠組みを決定した近代の西欧思想に触れ、その中で宗教の問題を捉え直し、理解を深める。	△	○	○	○	○
宗教思想2	自由科目		1～4	現代の宗教思想を学び、現代社会と宗教思想との関係について理解を深め、考える能力を身につける。	△	○	○	○	○
地理学概説1	自由科目		1～4	地理学の基礎を学び、人間の生活の多様性を理解を深める。	△	○	○	○	○
地理学概説2	自由科目		1～4	地理学の基礎を学び、人間の生活の多様性を理解を深める。	△	○	○	○	○
自然地理学1	自由科目		2～4	自然地理学の基礎を学び、地球全体の環境を意識を高める。	△	○	○	○	○
自然地理学2	自由科目		2～4	自然地理学の基礎を学び、地球全体の環境を意識を高める。	△	○	○	○	○
地誌学1	自由科目		1～4	具体的な事例に基づいて地域と生活の密接な関係を理解を深める。	△	○	○	○	○

法学部国際ビジネス法学科グローバルコースのカリキュラム					法学部の学修成果との関連 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)				
科目名	科目区分	主要授業科目	配当年次	科目の学習成果	法学と政治学の学問体系の基本的な知識の習得	現実の社会を理解する基礎的な技能の習得	偏見を持たず、多様な価値を尊重できる高い倫理の習得	身につけた知識、技能、倫理的感覚を総合して用いた表現力の習得	国際的な視野を持ち、法的な知識・技能を表現する力の習得
地誌学2	自由科目		1～4	具体的な事例に基づいて地域と生活の密接な関係を理解を深める。	△	○	○	○	○
心理学1	自由科目		1～4	実証科学としての心理学の基本的枠組みのもと、「心」の様々な側面について理解することにより、自分や他者の「心」の働きを考える手がかりを得る。	△	○	○	○	○
心理学2	自由科目		1～4	実証科学としての心理学の基本的枠組みのもと、「心」の様々な側面について理解することにより、自分や他者の「心」の働きを考える手がかりを得る。	△	○	○	○	○
哲学的人間学	自由科目		2～4	学生は哲学の立場から人間学を学ぶことを通して、人間理解を深める。	△	○	○	○	○
倫理思想	自由科目		1～4	バイオエシックスの問題をキリスト教を中心に、さまざまな宗教的視点から分析していく。バイオエシックスに関する自分の考えを構築する力を身につける。	△	○	○	○	○
現代倫理	自由科目		2～4	現代社会における倫理的諸問題について学びつつ、それについて考察し意見を述べる力を身につける。	△	○	○	○	○